

5月の 広島中央保健生活協同組合だより

けんこう

2022年
5月号

No.584

広島中央保健生活協同組合

編集部連絡先
〒733-0031 広島市西区観音町16-19
電話(082)-532-1264
FAX(082)-532-1267

アドレス <http://www.hch.coop/>
Facebook 「広島中央保健生活協同組合」

2022年3月31日現在
組合員数 29,666人
出資金 12億6,309万円
発行責任者 生協広報委員会



人生を明るくする「かきくけこ」 いのちの章典実践交流会

3月25日(金)「いのちの章典」実践交流会が開催されました。

今年のテーマは「どんなときでも安心して暮らし続けられるまちに」いきるを支える生協に入ってよかったです。

大野正喜専務より、ロシアによるウクライナ侵略戦争にふれ、あらためて医療福祉生協として被爆の実相と被爆者の声を世界に発信し、核兵器禁止、核兵器

協活動)があることが大切です。「人生を明るくする」かきくけこはまさに生協の活動ですね」の投げかけに会場の多くの方がうなずかれていました。「自分らしく」とは自分自身だけの準備ではなく、その思いや考えを「大切な人」につなぐことが大切です。アンケートの感想に「老

活を考えるきっかけになった」と多くの方からいただきました。

続いて各支部・事業所より活動報告が行われました。2年目のコロナ禍、その中で「あきらめない」「できること」に進んでおり、「つながる」ことの重要性を感じる報告でした。今回は、新型コロナウイルス感染者数がなかなか減少しないなか、短時間開催となりグループディスカッションが行えなかったことが非常に残念です。

生で何度かおとされる「黄金期」、もっている力を活用して、助けを必要としている人を使うこと。活かす場(生

32名計71名の参加があり、新しい活動へのヒントにならなうか。

コロナ禍でのつながり	地域包括ケア部事業推進課 倉野 隆行副主任
バザーで組合員、地域のつながりを	五月が丘支部 木下 啓子支部長
訪問行動からの取り組み	観音・天満支部 寄本 克枝支部長
被災者支援バザー決行記	田方支部 有田 健男支部長
組合員と共に「おかし」ことへの解決へ前進	理事会社保・平和委員会 安徳 剛さん
コロナ禍での班づくりと合同班会の開催	東区北支部 西川 芳枝支部長
元気なときから看取りまで	介護事業部 田頭 嘉直事務長



人生を明るくする「かきくけこ」

「か」 感動
「き」 機嫌よく
「く」 工夫して
「け」 健康
「こ」 貢献・交流

掲示板

広島中央保健生活協同組合

子ども食堂 生協わくわくぱーていー

【日にち】5月14日(土)
【時間】11時30分~12時30分
【場所】いきいきプラザ2階

どなたでも参加できます。



※開催場所が変更になる場合がございますので、詳細はお問い合わせください。
※新型コロナウイルス感染症対策の観点から食事のみの提供とし、時間を短縮して開催しております。感染状況によっては中止となる場合がございますので詳細はお問い合わせください。
※午前7時の時点で警報が出ている場合は、中止とさせていただきます。
※アレルギー対応はしておりませんので、ご了承ください。

調理・あそびボランティアさん お米・野菜等食材のご提供もお待ちしております(^^) 大募集中!! お申し込みは☎082-532-1264(組合員活動推進課)まで

子育て広場 コーブ 5月の予定 のびのびくらぶ

日時 毎週水曜日10時~12時 場所 生協けんこうプラザ5階

5月 「のびのび」行事

※企画内容は都合により変更となる場合があります。

- 第1週 4日 お休み
- 第2週 11日 わくわく絵本の世界
- 第3週 18日 英語であそぼう
- 第4週 25日 親子でストレッチ ◎

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては中止とさせていただきます。

心の窓

「じつもの日」は1948年に国会で制定されている。「男子の祝い」というイメージがまだまだ拭えない感もあるが、子どもの人格を重んじ、子どもの幸福をはかるとともに、母に感謝する休日と定められているそう。でもその起源は古来中国で、菖蒲やよもぎを軒に吊るして無病息災を願った行事が伝わったといわれる。日本では「端午の節句」として宮中から鎌倉の武家社会へ伝わり、武道等を尊ぶ節句へと変わっていった。江戸時代には5月5日を式日と決め大名たちが式服で江戸城へお祝いを奉納するようになったそう。武家に男の子が生まれると玄関前に馬印や幟を立てて祝うようになり、庶民へも広まっていくが、庶民は幟を立てられないため「鯉のぼり」ができ今日の習慣につながったと考えられている。鯉は「鯉の滝登り」等の古事知られる通り鯉から龍へ出世する魚と考えられ、子の立身出世を願って飾られたとのこと。このように男子が期待された時代の名残がある。歴史の事実を受け止めて、「子どもの日」をきっかけに誰もが公正に安心して暮らせる社会への道筋をあらためて考えてみたいと思った。

チャーリー

1. 2022年度の保健生協の重点課題(案)

協同の力で、誰もが健康で居心地よくくらしを過ごせるまちをつくりまします。

1. お互いを尊重して多様性を認め合い、つながりを絶やさない取り組みをすすめます。

① 地域の感染状況をふまえながら、感染予防対策を徹底して、班会や居場所、子育て応援の取り組みなど、地域の活動を継続します。SNSやWebを活用した組合員同士の交流を広げます。

② 地域に開かれた多世代でのつながりを広げ、暮らしの中の心配なことを受け止めます。誰もが気軽に立ち寄り、楽しく交流し、ほっとできるような場を広げます。

③ 「でかけるつながる安心を結ぶ」ことをめざした「いっせい訪問行動」を継続して実施し、表面化しにくい困り事にも気づき、寄り添えるちからをつけます。



④ 長く自粛やマスク生活により懸念される認知症やフレイル・オーラルフレイルの進行を予防するため、けんこう

チャレンジなど、健康づくりの活動を工夫して広げます。「すこしお(すこしの塩分ですこやかな生活)」の取り組みを強化します。

⑤ 行政が進める健康づくりの取り組みとの連携を強めます。支部や班での日常的な健康チェックとともに健診受診率を高め、健康寿命の延伸に寄与します。

2. 協同の力で地域に必要な事業の質を向上させ、くらしの安心と満足を高めます。

① 職員組合員と地域組合員の協同で、選ばれる事業所づくりをすすめる、事業収益(2021年度比●%)及び事業費用(2021年度比●%)を達成します。

●(%) 予算を達成します。中長期資金計画の見直しに基づく必要剰余金を確保します。

② 第6次長期計画の最終年度として掲げた課題の総仕上げに取り組み、2030年のあるべき姿を組合員で共有し、広島中央保健生協の2030ビジョンを策定します。

③ 地域のニーズに向き合い、「総合力と連携」の視点で事業の強化や見直しに取り組みます。ホームページを充実させ、地域への発信力を

高めます。旧福島生協病院跡地など生協内の資源活用について、(医)療・(福)祉・(配)食・(住)居の視点を掲げ、必要な資金を確保して進めます。

④ 日常診療にSDH(健康の社会的決定要因)の視点を貫き、必要な時に十分な医療・介護のサービスを受けられるよう、一人ひとりの尊厳や人権尊重に基づく倫理観を高め、無差別平等の事業活動を推進します。

⑤ 高齢社会化が進行する中、医科・歯科・介護の一体的提供と他事業所との連携で、多疾患併存の多くの患者の要求に応えます。

⑥ 最期までその人らしく生活できる「生協10の基本ケア」(※)の実践を進め、元気な時から看取りまでを支える介護事業の仕組みをつくりまします。

⑦ 災害や感染症のまん延時に地域と組合員の要求に応えられるよう、BCP(事業継続計画)の拡充と定着をすすめます。



3. 地域のすみずみに、医療福祉生協の安心のネットワークを広げ、より身近なつながりを強めます。

① 広島中央保健生協の認知度

を高め、「加入したら安心」と実感できる組織への成長をめざし、年間3000人の仲間ふやしに挑戦します。一人ひとりの組合員が医療福祉生協の魅力語り広げます。加入後、高齢化や転居などによる不明組合員の把握・改善に努めます。

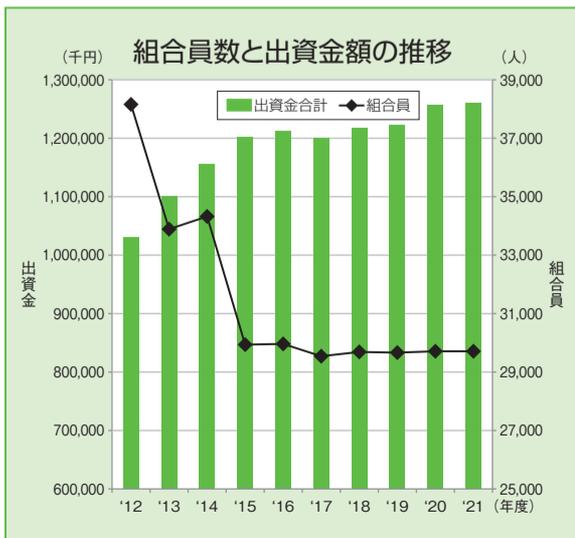
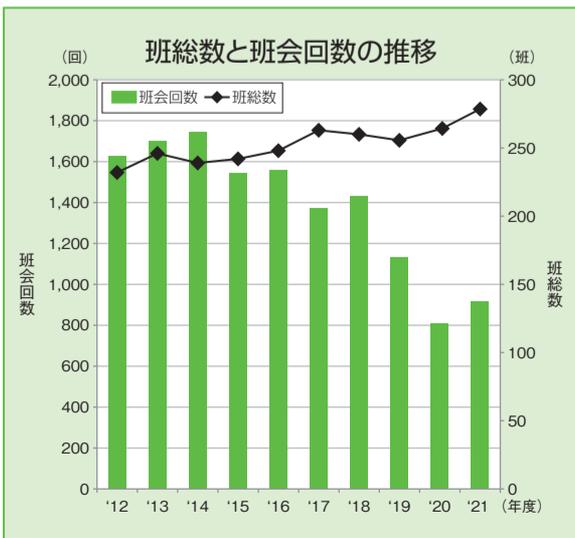
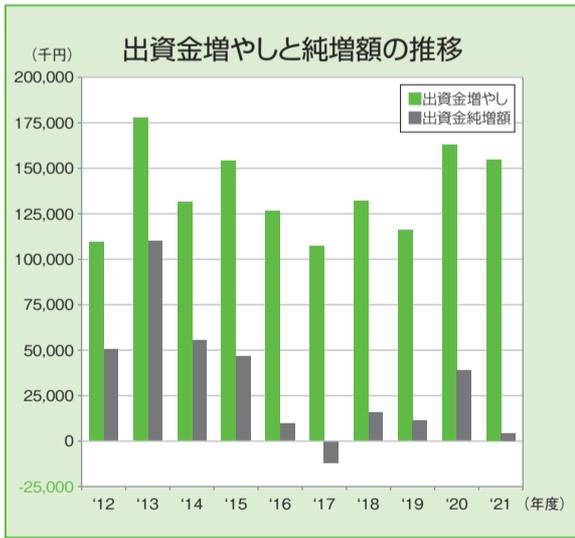
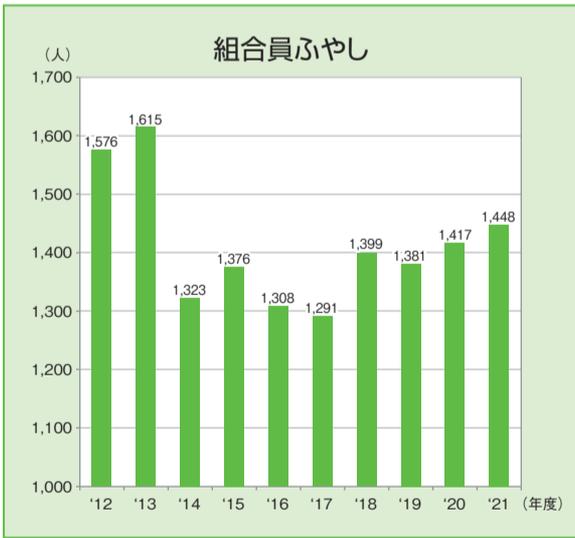
② 新たな支部づくりや班づくりをすすめる、顔の見える身近な範囲で安心のネットワークづくりを強化します。支部づくり目標を3支部とし、組合員の多様な要求実現の場である班づくりの目標は50班とします。

③ 担い手増やし目標を200人とし、新たな運営委員を迎え入れ、支部活動の活性化をはかります。機関紙「けんこう」の手配り網を広げ、活動に参加する組合員の「やりがい」を大切にします。

④ 事業と活動を支える出資金増やしの目標は1億5000万円(純増3000万円)とします。積立増資者を新たに200人増やします。

【用語解説】

※「生協10の基本ケア」… 社会福祉法人協同福祉会(奈良)が提唱し、尊厳を護る、自立支援ケア、生活リハビリを基本に介護の実践指標として取り入れられているもので、「換気をする」「床に足をつけて椅子に座る」「トイレに座る」「夢中になれることをする」などの10項目があります。





4. 広島中央保健生協の理念のもと、平和と社会保障充実に向け、学び合い、語り合い、連携して行動します。

① 気候危機や環境破壊を防ぎ、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現をめざして行動します。SDGsの視点から事業と運動を見つめ直し、広島中央保健生協のSDGs宣言を作成します。

② 被爆体験と平和への想いを次世代に継承し、世界に発信します。唯一の戦争被爆国である日本が核兵器禁止条約を批准することを政府に強く求め、「黒い雨」などすべての核被害者の救済を広範な市民と協同して進めます。

③ コロナ禍より鮮明になった社会保障や医療体制の問題について学びを深め、いのちとケアが大切にされる社会の実現をめざし行動します。憲法を活かし、改革を阻止します。ジェンダー平等が貫かれたすべての人権を守る社会をつくりまします。

④ 事業所と地域支部がともに医師・介護職員をはじめとする人材の確保と定着を最重要課題として取り組みます。広島中央保健生協の理念に共感し、協同する職員育成を進めます。

II. 2021年度の活動の特徴(要約版)

2021年度四課題	実績	前年度実績	前年度差	前年比	目標(計画)	差	計画比
①仲間ふやし(人)	1,448	1,417	31	102.2%	3,000	△1,552	48.3%
②出資金増やし(千円)	154,712	162,500	△7,788	95.2%	150,000	4,712	103.1%
③純増資者数(人)	4,598	4,824	△226	95.3%			
④出資金純増(千円)	3,337	36,075	△32,738	9.3%	30,000	△26,663	11.1%
⑤減資(千円)	151,375	126,425	24,950	119.7%	120,000	31,375	126.1%
うち、みなし脱退による減資	2,881	4,005	△1,124	71.9%			
みなし脱退を含まない純増	6,218	40,080	△33,862	15.5%			
⑥新規積立増資者数(人)	124	165	△41	75.2%	200	△76	62.0%
⑦支部づくり	3	0	3		3	0	100.0%
⑧班づくり	20	29	△9	69.0%	50	△30	40.0%
⑨担い手づくり(人)	85	97	△12	87.6%	200	△115	42.5%
⑩機関紙配布数	15,428	15,943	△515	96.8%			

1. 第6次長期計画(4年目)の運動と組織づくり

(1) 誰もが健康で居心地よく、安心してくらせるまちづくりをすすめてきました。

① 新型コロナウイルス感染症のまん延が続き、5月16日からの緊急事態宣言を皮切りに通算155日間にわたる感染対策期間が設定され、組合員活動が大きく制限を受ける中でも、工夫と努力を尽くして組合員活動に取り組ましました。ウォーキングイベントを春と秋に2回ずつ実施し、スマホ教室やオンラインによる班会や支部運営委員会の開催をさらに進めました。けんこうチャレンジ2021の取り組みでは、パンフレット普及数が過去最高数となり、ウォーキングコースを選択した方から生協のウォーキング班が誕生しました。

② 2020年11月の懇談からスタートした広島市健康福

社局と連携した健康づくり活動では、広島医療生協と共同で「健診受けてよかった」エピソードを募集し、2022年3月には広島市西区と共催での健康づくり講座を開催しました。

③ 9月21日より10月末まで「いっせい訪問行動」に取り組む、組合員225名・職員236名の計461名の参加で1810件を訪問し、919名の方と対話できました。「年金が少なくて不安」「新型コロナウイルス感染症で仕事が減って生活が苦しい」などの声を受けとめ、お困りごとには「よろず相談窓口」などで対応しました。

④ 8月13日、14日に発生した大雨土砂災害で多くの組合員が被災されました。被災地支部組合員と職員で、避難所訪問・組合員への電話かけ(486名の組合員対象に電話かけし、144名

2021年度 組合員活動日誌

日付	活動内容	参加
4/2	健康づくり委員会主催 春のウォーキング企画 安芸中野コース	18人
4/18	健康づくり委員会主催 春のウォーキング企画 八幡川沿いコース	51人
6/19	第66回通常総代会	50人
6/25	「全世代型社会保障」ストップ大運動報告集会	42人
7/1	けんこうチャレンジスタート(11月まで/県全体3,864人)	1,644人
7/30	社保連絡会公開講座第16回「金権政治を一掃し国民のための政治に転換を」(河井疑惑をただす会事務局長/山根岩男氏講師)	34人
8/6	広島原爆の日 平和学習(Web)「被災地、紛争地域の声から考える『平和』」(フォトジャーナリスト/安田菜津紀氏講師)	146人
9/2	けんこうチャレンジ企画「コロナに負けない!健康づくり」(発酵食品のはなし・おなか引き締め正しいストレッチ)	41人
9/4	いっせい訪問行動スタート集会(Web)「貧困を背景とした困難事例と地域で『支え合う』仕組みづくり」(県立広島大学/田中聡子氏講師)	66人
9/18-11/18	生協強化月間直前 職員向け生協加入お勧め「達人講座」(地域理事より「生協に加入してよかった」ミニ講演)	38人
9/23	第34回日本高齢者大会inながのWeb集会(全体の参加者3,000人)	23人
9/24	社保連絡会公開講座第17回「報道のウソ、マコトの見分け方」(中国新聞元論説委員/難波健治氏講師)	49人
11/3	健康づくり委員会主催 秋のウォーキング企画 元宇品コース	48人
11/20	子育て応援企画 「スマホから子ども達を守ろう」(広島国際大学/西原いづみ氏講師)	16人
11/24	健康づくり委員会主催 秋のウォーキング企画 神社巡りと縮景園コース	50人
11/26	社保連絡会公開講座第18回「気候危機～地球温暖化、打開の道と課題」(広島県自主防災アドバイザー/越智秀二氏講師)	39人
11/29	広島県高齢者大会「気候変動とエネルギー政策」(さよなら原発ヒロシマの会/利本克己氏講師)	69人
12/1	大腸がん検診促進キャンペーン(2021年12月～2022年2月)	1,830人
1/6	福島生協病院初期研修医と健康づくり連絡会との交流会	13人
2/18	医療福祉生協連「冬のあったか交流会」Web企画	23人
2/21	起草委員会主催 次年度方針討論集会	29人
3/11-14-16	ロシアによるウクライナ軍事侵襲抗議スタンディング行動(福島生協病院前)	103人
3/15	広島市共催健康づくり講座 「糖尿病について」(薬剤師/富士本穂氏講師)	31人
3/23	広島市西区厚生部地域支えあい課との健康づくり・子育て支援懇談会	11人
3/25	生協利用委員会主催「いのちの章典」実践交流集会 「どんなときでも安心して暮らし続けられるまことに～いきるを支える 生協に入ってよかった～」	71人
3/25	社保連絡会公開講座第19回 「広島県の金権政治を考える」(中国新聞元論説委員/難波健治氏講師)	35人

と対話・泥出しボランティア看護師ア・看護師派遣などを行いました。

⑤ 安芸区矢野にある居場所「矢野の家」の一角で、地域の皆様が健康や介護に関する相談ごとを気軽に持ち寄れる場として、広島中央保健生協の「ひだまり保健室」がスタートしました。

(2) 「総合力」と「連携」で、広島中央保健生協の事業を継続し、発展させました。

① コロナ禍が続く中、必要な設備の整備や新たな体制を組み、新型コロナウイルス感染症の検査やワクチン接種を全ての医療事業所で行いました。広島市の新型コロナウイルス感染症検査検査機に登録し、療養期間が解除された患者の受け入れや



療養施設における診療の指示を担当するなど、新型コロナウイルス感染症患者を看る重点医療機関の負担を軽減し、地域医療を守るための新たな役割を担いました。

② 旧福島生協病院の跡地活用では、第6次長期計画に掲げた「高齢者が安心して住み続けられる医・福・食・住の提供」における「食」事業の誘致を中心に検討してきましたが、近隣の土地情勢の影響もあり、確定できませんでした。(株)ピーエムシー企画への700坪全面売却方針の継続と並行して、一部売却や新たな事業誘致についての検討を進めています。

(3) 地域のすみずみに、医療福祉生協のあしんネットワークを広げられるよう努力しました。

生協強化月間の後半から各ブロックの新支部づくりの動きを再起動させ、西部

ブロックでは五日市南支部、中央ブロックは庚午支部、東部ブロックで牛田支部の発足に向けて力を合わせました。牛田支部が2021年12月16日、庚午支部が2022年1月25日、五日市南支部は3月31日に結成され、支部数は31支部となりました。

(4) 広島中央保健生協の理念のもと、平和と社会保障充実に向



け、学び・広げ・連携を強めました。

患者や組合員に向けて行った「75歳以上医療費2割化問題アンケート」を1043枚回収し、2021年4月27日に記者会見を開催して、高齢者の声と願いを届けました。秋の総選挙に向けて、各政党に「わたしたちの願い」(①75歳以上医療費2割化問題 ②地域医療構想・病床削減問題 ③核兵器禁止条約の政府批准)についての公開質問状を送付し、回答内容を組合員に公開しました。社保連絡会では4回の学習会を開催し、「あれ?おかし」の気づきを持ち寄る地域改善活動の取り組みでは、春のウォーキング行事で気づいた公園のトイレ改善、および、いっせい訪問行動で要望のあった公園のゴミ処理と不法駐車対応の3件に取り組みました。

診療のごあんない

2022年4月現在です。
急な医師の交代で変更もあり得ますので、ご了承ください。
※前回から変更している部分は網掛けで表示しています。 (2022年5月から)

受付時間			月	火	水	木	金	土	
 <p>福島生協病院 082-292-3171 (健診:082-292-3215)</p> <p>診療体制は変更となる場合がございます。事前にお問い合わせ下さい。</p> <p>予約は一般外来(初再診外来)を受けていただき、治療が必要と医師が判断した場合、専門医の予約を取って通院、治療していただくことになっています。</p>	午前	8:30~11:45 診察は9:00~ (予約は8:30~12:00) 診察は9:00~	内科	橋本 神尾 池本 田中(干) 高岡(予約) 多比良(予約) 保手浜(予約)	多比良 三善 松原 柴田 藤原(予約) 高岡(予約) 飯田(予約) 橋本 5/24(火)より	橋本 神尾 田中(干) 柴田 交替(予約) 藤原(予約) 大津(予約) 藤原(予約) 大津(予約)	橋本 5/19(木)まで 神尾 浜本 池本 藤原(予約) 大津(予約) 藤原(予約) 大津(予約)	保手浜 神尾 田中(干) 藤原(予約) 大津(予約) 多比良(予約) 大学(予約)	直江(第1・3・5週) 交替(第2・4週) 大学 交替(予約)
		8:30~11:00	健診	杉原・田代 杉原・佐藤	杉原・田中(貴) 杉原・佐々木	北口・田代	伊藤・石田 (第1・3・5週) 田中(貴)(第2・4週)		
		8:30~11:45 診察は9:00~	外科	大森 宮庄 長谷川 杉本(予約)	田代 原田 11:00まで杉本	前田 宮庄 11:00まで長谷川	北口 原田 長谷川 杉本(予約)	前田 大森 杉本 長谷川(予約)	交替 9:30~受付 10:00~診察 交替(第2・3週) 9:30~診察
		※耳鼻咽喉科・ 皮膚科・泌尿器科 急な休診の可能性 あり。事前にお問い合わせ ください。	婦人科	大学(完全予約制)			大学(完全予約制)		
			眼科	高松 松浦 大学	高松 松浦 大学	高松 松浦 大学	11:00まで高松 11:00まで松浦 大学	高松 松浦 大学	大学 大学 大学
			耳鼻咽喉科※ 皮膚科※ 泌尿器科※		10:00~診察大学		10:00~診察大学		大学 大学 大学
			午後	13:30~16:30 診察は14:00~	内科	多比良(予約) 飯田(予約)	大津(予約) 保手浜(予約)		神尾 藤原(予約) 叶(予約)
		13:45~16:00 診察は14:00~	外科 肛門科 眼科	戸田 高松			原田 田代 松浦		
		夜間	16:30~18:00 診察は17:00~	内科				藤原(予約・不定期)	
		<p>生協小児科ひろしま 082-532-1260</p>	午前	8:30~11:30	北村 泉	北村	北村	北村	北村
	13:00~14:00			予防接種 (予約制)	予防接種 (予約制)	乳児健診 (完全予約制)	予防接種 (予約制)		
午後	14:30~16:30		北村	北村	北村(第4週休診)	北村	北村		
<p>NEW 土曜日の午後診療スタート 生協歯科ひろしま 082-291-1333</p> <p>予約制です。痛み等ある場合はご相談ください。</p>	午前	8:30~11:30	今川 高浜 山本	高橋 平岡 松井	今川 高橋 高浜 山本 平岡	高橋 松井 山本 平岡	今川 高浜 平岡	交替 (12:00まで) 第5土曜日は 休診	
	午後	11:30~16:30	今川 松井 高橋 高浜	高橋 今川 山本 高浜	高浜(第2・4) 平岡(第2・4)	高浜 今川 高橋(月2回) 平岡	今川 高橋 高浜 松井	交替 (13:30~) 第5土曜日は 休診	
	夜間	16:30~19:30	高橋 松井 平岡	今川 山本 高浜		今川 高浜 平岡	高橋 松井 山本		
<p>生協さえき病院 082-926-4511</p>	午前	9:00~12:00	内科	世戸(博) 沼本 福山	荒井 世戸(博) 重本 伊藤	山科 黒川 重本	叶 佐藤	高内 大学 福山 荒井	高内 交替
			内科(予約)						
			健診	渡辺 三好	南方 三好	佐藤	根本 三好	佐藤 三好	交替 10:30まで
			整形外科						
午後	15:00~17:00	内科	14:00~17:00 高内	14:00~17:00 伊藤 南方	佐藤		佐藤		
夜間	17:00~19:00	内科					福山		
<p>生協さえき歯科 082-926-1148</p>	午前	8:30~11:30 水曜は11:00まで ※予約制です	保子 福井 末井	星 保子 福井	星 保子 福井	星 福井	星 保子 末井	星 保子 末井 福井	
	午後	13:30~17:00 水曜は14:00~ ※予約制です	星 福井 末井	星 15:00まで保子 16:00まで末井	星 末井		保子 15:00まで星 16:00まで福井		
	夜間	17:00~19:30 ※予約制です		16:30~保子 17:30~末井			16:30~星 17:30~福井		
<p>コープ五日市診療所 082-924-0608</p>	午前	9:00~12:00	内科	佐々木	長谷	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木(第1・3週休診)
	午後	15:00~16:30	内科		佐々木	佐々木			
	夜間	17:00~18:30	内科	佐々木				佐々木	
<p>コープ草津診療所 082-272-8665</p>	午前	9:00~12:00	内科	世戸(寛)	福山	世戸(寛)	福山	世戸(寛)	第2・4週のみ 診療 八田
	午後	14:00~17:00	内科	世戸(寛)		世戸(寛)		世戸(寛)	
	夜間	17:00~18:00	内科		福山				

① 広島中央保健生活協同組合 本部・総務部 082-292-3179(出資金取扱い窓口) ③ 地域包括ケア部 082-532-1264(組合員活動関連問い合わせ窓口)
 ② 広島中央保健生協居宅介護支援事業所 082-292-0852(介護関連問い合わせ窓口) ④ よろず相談窓口 082-553-9578

わがまち散歩

十方山(じっぽうざん)1318.9m 廿日市市吉和



瀬戸の滝

その名を示す平坦で広い頂上の県内3位の高峰である。今年2月にあったように冬には遭難の多い山でもある。登山口は廿日市市吉和の立岩ダム上流部の瀬戸谷の合流点にあり、立派なトイレと広い駐車スペースがある。自然林の尾根の中の急坂を登っていくと、やがて谷筋を進むようになる。谷の左岸から右岸へ渡って少し登ると尾根に出て樹間から頂上付近が見えはじめる。三ツ倉遭難碑のあるピークの右側の巻き道を進み、鞍部を過ぎて広葉樹の尾根道を登る。笹の間の登山道を登りしばらく行くと突然前方が開けて平坦な笹の草原になる。風の通る草原の中を遭難碑を左に見て20分歩けば頂上に着く。頂上からは、

正面に立岩山、右手に吉和冠山、左手には内黒山が見渡せる。

下山は往路を下り、谷筋の道から分かれている瀬戸の滝への道を下り、落差47メートルの瀬戸の滝の豪快な飛沫を浴び、遊歩道を20分歩けば登山口に出る。

往復約5時間。登山道は水越林道からと内黒峠からのコースもある。

頂上

湯来支部 牧野 一見



フレッシュな35人が
入職しました!

2022年4月1日(金)、生協けんこうプラザにて、広島中央保健生協を担っていく新入職員の入職式が行われました。

新たに迎えた35名の職員は、地域の組合員との協同により、生協の事業と運動を飛躍させる原動力となっていきます。

入職式を終えると、オリエンテーションが始まります。広島中央保健生協の沿革や理念、医療安全対策や院内感染防止のポイントなどについて、2日にわたって学びました。(生協総務部発)



組合員のみなさん、
よろしくお願ひします!



広島市との共催企画「健康づくり講座」

3月15日(火)に広島市と共催で健康づくり講座を開催しました。7日(月)にまん延防止等重点措置が明けてからの広報でしたが、31名もの方が参加してくださいました。講座ではまず保健師からお話があり、西区の健診受診と健康寿命のデータに触れながら健診を受けることの大切さを学びました。後半はアルカス薬局の富士元さんが講演しました。講演は、かかりつけ薬局と糖尿病の二本柱で進みました。かかりつけ薬局については、かかりつけ薬局を持つことで複数の医療機関にかかっている薬の管理がきちんとできることや、お薬手帳を常に持っていることで緊急時に迅速に治療や処方を受けられるという話がありました。糖尿病の話では糖尿病の基本知識からインスリン注射が回復に有用であること、普段からの適度な運動のすすめまで幅広くご講演いただきました。参加者からも「薬のことがよく分かった」「目から鱗でした」などの感想が寄せられました。

(理事会健康づくり委員会発)



事業所だより

接種日を過ぎてはいませんか?
『日本脳炎ワクチン』

日本脳炎は、感染した豚から蚊を介して感染し、高熱、けいれんなどの症状を示す脳炎を引き起こす病気です。

日本脳炎ワクチンは、第一期の1回目を生後6か月から打つことができ、4週間あけて2回目、1年あけて3回目を打ちます。4回目(第二期)は、9歳から12歳(13歳になるまで)に接種します。

第一期の3回目は、2回目から1年あいたが空いたため接種を忘れてしまいがちです。あまり間隔が空きすぎないようお気をつけください。

現在、ワクチンの供給不足は解消されました。ワクチンをお待ちいただいていた方も、一週間前までにご予約の上接種してください。

お問い合わせ先

生協小児科ひろしま TEL:082-532-1260

脳いきいきクイズ

4月号の答え(A1.後は野となれ山となれ・A2.石橋をたいて渡る・A3.馬の耳に念仏・A4.縁の下の力持ち・A5.親の心子知らず・A6.河童の川流れ・A7.臭いものにふたをする・A8.芸は身を助ける・A9.聞いて極楽、見て地獄・A10.紺屋の白袴)でした。

組合員の輪

初めてのおりづるタワー！ ～井口・鈴が峰支部 旅班～

3月27日(日)に、井口・鈴が峰支部の旅班で「おりづるタワー」に行きました。

久しぶりの旅班の活動となったこと、初めて参加して下さった組合員さんがいたことに喜びの声があがりました。

展望台が13階にありますが、みんなで気合を入れて階段を使い上りきました！まだまだ元気いっぱいです。

上から見る広島街の街並みはとても綺麗で「来てよかったわ～♪」と思い出に残る1日になりました。

また、原爆ドームや展示を見ながら改めて平和について考えるよい機会となりました。

コロナ禍で動けなかった分、自分たちのできる範囲でこれからも楽しみながら学び合える行事を企画していきます。



手配り者の集いを開催 ～湯来支部～

湯来支部では、年度末の3月30日(水)に、けんこう手配りをされている方の交流会を行いました。

会場の湯来ロッジの近くでは、桜も三分咲きから五分咲きといったところで、春が訪れるまでにはもう少し時間がかかりそうでした。

交流会では「けんこう」の手配りの重要性や、普段の手配りの様子についてみなさんで意見を交わしました。高低差の大きな湯来の団地では、手配りさん方のお仕事もかなり重労働になるそうです。手配りさんの中でも、「まったく組合員さんと顔を合わせない」という方もいれば、「毎月の「けんこう」を心待ちにしてくださっている方がいる」という話もありました。また、手配りに伺ったお家でコーヒーをごちそうになるというお話や、山間の別荘で出迎えてくれるワンちゃんのお話など、手配りさんのほっこりエピソードも聞くことができました。

毎月みなさんの「けんこう」の手配りの中での、ささやかな楽しみについて知ることができてよかったです。



受援力が大事！ ～安芸中央支部～

3月18日(金)に昨年12月に立ち上げたスマイル班の第1回目の班会を開催しました。組合員10名、職員3名の計13名の参加でした。

高齢者施設を見学したいという組合員さんからの声で誕生しましたが、コロナ禍ということもあり、施設に見学に行くのはなかなか難しい状況です。まずは高齢者施設にはどんな種類があるのかを学習しようということになり、地域包括ケア部の飯星さんを講師に招き、

施設の種類や選ぶ際の注意点、入所に係る費用などについて学びました。

そのうえで、今の日本の高齢者に必要なのは先のことを案じるのではなく、『受援力』を高めることで強く訴えられていました。「助けが必要な時に助けてと言える力を養い、いろいろな介護制度を利用し、最期まで自宅で安心して暮らせる、それこそが人間らしい生き方だと感じました」また「SOSサインを出している方に気づく力も必要だと思いました」などの感想が出されていました。

学習会後の交流では次回は介護保険制度について学んでみたい、まずは地域の施設から見学してみようなど様々な意見もあり、とても楽しい班会となりました。



「戦争反対」アピール行動に 職員、組合員がアクション！

職員社保委員会が3月11日(金)、14日(月)、16日(水)の3日間、アピール行動を提起、福島生協病院前の緑地帯は、「戦争反対」「ロシアは国連憲章を守れ」「今こそ憲法9条を守ろう!」などと書かれたプラカード、横断幕、幟旗で埋め尽くされました。延べ103名の職員、組合員が参加しました。初日は理事会社保平和委員長の藤本理事がスピーチ。プーチン大統領の蛮行への怒り、この機に乗じた核共有論、憲法9条改悪を持ち出した日本の政治を批判しました。職員のリレースピーチでは、広島は世界で最初に戦争で核兵器が使われ、大量殺戮が行われた街であり、わたしたちは、広島の苦しみを繰り返すことを許さない。日本政府に核兵器禁止条約に批准することを求めるとともに、武力の行使を禁じた国連憲章と憲法9条にもとづく外交努力の先頭に立つことを求めるとの力強い訴えがありました。最終日には藤原秀文理事長が「私たちはこれからも『平和を守れ、核兵器を使うな』という声を届けていきたい」と行動のまとめの発言がありました。通りかかった方や車の中から笑顔で応える人、共感して手を振ってくださる方が多数おられました。(職員社会保障 平和委員会発)



俳句・山柳

～お題：穴子～

- 焼穴子 春が来たよと友誘う / 熊のプーさん
- 穴子飯 骨はないかと義歯で噛む / 百合
- 年金日 穴子をやめてうなぎ買う / ふじばかま
- うなぎより 穴子が好きとやせ我慢 / スイートピー

～自由句～

- 血迷うな 核共有 元総理 / 吹き矢のフーさん
- 春の歌 ばかり選んで 家龍り / 大根草

お知らせ 選考を円滑に行うため、投稿数は一人5句までとさせていただきます。
*採用された方には図書カードをプレゼントします。
ぜひご住所をお知らせくださいませ。 広報委員会

おたより募集

川柳、俳句、短歌

7月号の川柳のお題は「夕焼け(締め切りは5月20日)」です。自由演題でも結構です。その他、「私の家族(ペット)」「私のとっておきの一枚」「コロナに負けない!私のストレス解消法」を募集しています。写真と簡単な紹介文を編集部までお送りください。

宛先 733-0031 広島市西区観音町16-19-4F
広島中央保健生協 組合員活動推進課 けんこう編集係
E-mail:soshikibu@hch.coop FAX(082)-532-1267

理事会より(3月理事会報告)

- 福島生協病院と生協さえき病院での新型コロナウイルス感染症のクラスター発生に伴う入院制限によって、2月の経営結果は約7千万円の赤字となりました。クラスター発生で空床にせざるを得なかった病院への補助金(みなし重点医療機関認定による空床確保料)申請を行い、約4千万円が支給されることになりました。
- 1月の理事会から検討を進めていた「2022年度の保健生協の重点課題(案)」について、「けんこう」5月号掲載分を確認しました。